

2025-2026年度



# 西脇ロータリークラブ週報

No.18 第2880回 令和7年12月22日

今週の歌: 奉仕の理想

プログラム

「クリスマス例会」



会長 吉田 康志 幹事 赤井 浩起

例会日 月曜日 12:30-13:30

例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel: 0795(23)2000

事務局 西脇商工会議所内

〒677-0015 西脇市西脇 990

Tel: 0795(22)3901 Fax: 0795(22)8739

吉田会長のテーマ

「ロータリアンの自覚と誇りをもってロータリーライフを楽しもう」

## 12月15日(月) 第2879回例会記録

◎出席 会員数 42 名 (出席免除 4 名・休会 1 名)  
出席 38 名 (例会出席 33 名 MU 5 名)

### 会長の時間

吉田康志会長

本日、12月15日から年賀郵便特別扱いが開始します。今日から12月25日までの間に年賀状を投函すると、翌年の元日・1月1日に届きます。年賀状の特別扱いが開始されたのは1899年(明治32年)のことで、当初は指定局のみでしたが、その後、1905年(明治38年)に全局で特別取扱いが開始され、翌1906年(明治39年)に制度化がされました。(1940年(昭和15年)から1947年(昭和22年)は年賀郵便の特別取り扱いが停止されました)年賀状は平安時代から始まったとされています。この頃からお世話になった方や親族に新年の挨拶をして回る「年始回り」という習慣が広まりました。しかし、まだ挨拶に手紙を使用するのは一部の貴族で、直接会えないような遠方の方へ賀状として送っていたそうです。江戸時代に入ると、今の郵便の先駆けとなる「飛脚」が充実し、庶民が手紙で挨拶を済ませることも増えていきます。この頃には、「名刺受け」というものを玄関に設置し、不在時には、新年の挨拶を書いた名刺を入れてもらうという文化もありました。現在のようながきスタイルになったのは、1873年(明治6年)に登場した官製はがきがきっかけです。明治20年前後には、年賀状を出すことが年始の恒例行事となり、前述の年賀郵便特別扱い制度につながります。最近では「年賀状は今年限りにします」といった「年賀状じまい」のメッセージを見かけることが多くなったように思います。統計的にも1995年は年賀状を出さない人は1割以下でしたが、昨年は5割を超えていて、特に若年層は顕著でした。しかしながら、年賀状の来ない正月は寂しいと「年賀状じまい」をして後悔される方も少なからずいると聞きます。皆様はいかががされますか？



## 幹事報告

### (来 信)

- 地区事務所より、
    - ・2025-26年度地区大会参加・登録のお願い  
2026年3月7日(土)～8日(日)  
於：神戸ポートピアホテル
    - ※出席義務者は理事・委員長・副幹事・副SAA・入会3年未満の会員ですが、希望があれば、どなたでも登録していただけます。多数のご参加をお願いします。
    - ・ロータリー財団補助金制度の概要およびクラブ参加資格認定覚書(MOU)  
※補助金プロジェクトに参加するためには提出する必要がありますので、現会長、次期会長の署名をして提出します。
  - 2025-26年度大西ガバナー補佐より、2026-27年度ガバナー公式訪問予定の連絡および日程変更希望届送付のお願い  
2026-27年度公式訪問日程⇒7月27日(月)
  - ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま Vol.309
  - 明石北RCより、創立50周年記念式典・祝賀会のご案内  
2026年2月21日(土) 16:30～  
於：西明石キャッスルホテル
  - 西脇プロバスクラブ松籟より、新年例会のご案内  
2026年1月8日(木) 12:00～
  - 西脇商工会議所より、新年懇談会のご案内  
2026年1月20日(火) 17:00～  
於：西脇ロイヤルホテル
  - 富良野RCより、会報
- ### (報 告)
- ・週報の最後に記載されておりますが、12月・1月は例会スケジュールが変更になっておりますので、お間違いのないようお願いいたします。後日メールでお知らせします。

1月7日(水) 新年例会 18:30~  
1月19日(月) 担当: 職業奉仕委員会  
2月2日(月) 担当: 雑誌広報委員会